



城南中だより

舞鶴市立城南中学校
令和5年7月20日発行
第5号 通算667号

<http://jonan-maizuru.edumap.jp/> TEL 75-0137



盛夏の候 保護者・地域の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申しあげます。本日の終業式をもちまして、第1学期の教育課程を終えました。1学期の振り返りにあたって終業式で生徒たちに話した内容から抜粋してご紹介します。

「7月は短い期間に中丹総体予選をはじめ、たくさんの取組がありました。幼児ふれあい体験や本校のICT活用に係る他県からの視察、睡眠講座では良質の睡眠が日中のパフォーマンスにどれほど影響するのか科学的根拠から知り望ましい生活リズムの大切さを改めて学びました。そして韓国浦項市の生徒達とのあたたかい文化交流を通じて、今一度我が国の伝統を見直しつつおもてなしの手法やグローバルな感覚を磨くなど、どれも質の高い内容でした。



浦項市中学生との箏体験

さて、学期末といえば気になるのが通知表です。毎日の学習の成果を数値で表しています。そこに将来の夢や展望に向けた日々の挑戦の様子が成果として十分に反映されていれば、とてもうれしいです。ところで、よりよく生きるために欠かせない『優しさや判断力・積極性・忍耐力・協調性・』などの、客観的に数値化して表すことが難しい事項は、通知表の項目だけで全てを明らかにすることはできません。「非認知能力」とも呼ばれます。見えにくいけれど大切な、これからの社会を生き抜く力です。明日からの夏休みを充実したものに、2学期に向けて家庭や地域で継続して鍛えましょう。

一方、先生たちの通知表はといえば、今まさに目の前の君たちの成長です。学力に関しては“生徒の通知表＝先生の通知表”と言えますし、今すぐ見えませんが、君たちの今後数年・数十年後の自立した社会人としての頑張りや活躍もそうです。

大きな行事の多い2学期を【チーム城南中】としてますます元気に、力を合わせて良いものにしましょう。」

39日の夏季休業が、より良い2学期への助走となることを祈りつつ話しました。

確かな学び 心豊かに たくましく

複雑で変動的な時代を主体的に生き抜くための非認知能力「自分と向き合う力（自制心・忍耐力、しなやかさ等）」「自分を高める力（使命感・向上心・自尊感情等）」「他者とつながる力（誠実さ・思いやり・信じて工夫して力を合わせてやり抜く力等）」を基盤に、総合的な洞察力や分析力・判断力、企画力・構成力・実行力等をバランスよく発揮することが求められています。昨今の研究で「『認知能力（数値化して表せる学習成績等）』を支える『非認知能力』との相乗的な活用（※）」が報告されています。両者は密接に関わり、互いに影響しあっているということです。 ※ 岡山大学 中山芳一 准教授

三つ子の魂百まで、などといいますが「命を大切に。約束を守る。仲良くする。身の回りを整える。」等、物心ついたころから我々が鍛え続けてきた、より良い社会生活の根幹と重なる要素は、大人になってもますます洗練が求められます。

京都府では「認知能力と非認知能力の一体的な育成」を掲げて次世代型学力の充実に励んでおり、城南中学校区では「京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～」等から児童生徒の「非認知能力」に係る項目を抽出して継続的に分析し、校区の学校教育活動に活かします。

保護者・地域の皆様方の変わらぬご支援をよろしくお願い申しあげます。お体を大切に、どうぞご自愛ください。

校長 福本 浩介 教職員一同



より良い学校教育で、より良い社会をつくる